

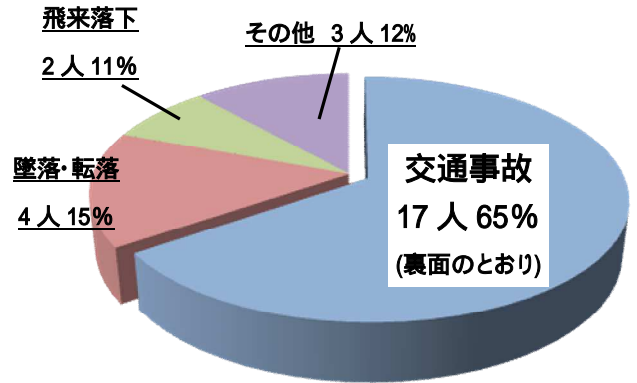
「行ってきます」と元気に出掛けたのに…

- 運送業における交通労働災害の防止に向けて -

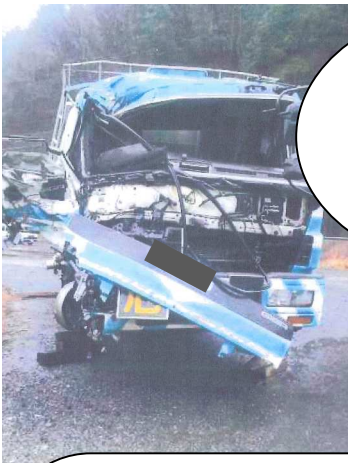
運送業における交通事故は、 死亡災害につながります

岐阜県内の運送業の事業場において、10年間で26件の死亡災害が発生していますが、そのうち交通事故によるものが65%にも達します。

トラック等の貨物自動車は、一度に大量の物資を運搬することが出来る便利な道具ですが、走行中に衝突・追突などが起きると、大きなエネルギーによって、死亡災害などの重大な事故を招くことにもつながります。トラック等を使用されている各事業場においては交通労働災害の防止に向け、万全の対応をお願いします。



岐阜県内における運送業の事故の型別
死亡災害発生状況(平成19~28年)



雨の下り坂で運転を誤り、センターラインを超え対向車と正面衝突(死亡1名)



高速道路で停車車両の発見が遅れ、追突一命はとりとめるも、右足切断の重傷

ガイドラインに基づく取組を!

交通労働災害の防止に向けては、各事業場において災害防止に向けた管理体制を整えるとともに、適正な走行計画の樹立、運転者への教育の実施、適正な労働時間管理・健康管理に努めるなどの実効ある取組が不可欠です。

そのための指針として厚生労働省は「交通労働災害防止のためのガイドライン」を定めています。同ガイドラインは、厚生労働省HPからダウンロード出来ますので、ご利用願います。

交通労働災害防止のためのガイドライン



トラックの損壊状況が、
事故の悲惨さを語る



センターラインを超えてきた4t車を除けきれず正面衝突(死亡1名、右足切断1名)

運送業における交通労働死亡災害事例

平成 19～28 年に岐阜県内において発生したもの

	作業内容	災害発生状況	ポイント等
被災者(同僚)の運転操作ミスによるもの	高速道路 運転中	4tトラックでの運送を終え、営業所へ戻る途中、名神高速道上り線で、道路左側のガードレールにぶつかった後、中央分離帯に衝突し、はずみで再度左側ガードレールにぶつかって、突き破り、高速道から高さ約3m下の町道に転落し、道路脇の電柱に衝突し車外に投げ出された。	運転者の前方不注意や運転操作ミスの背景に長時間連続運転による過労や、健康障害等が潜んでいる場合があります。
	国道 運転中	4tトラックで荷を関東方面へ運搬中、トンネル内の下り坂の緩やかな左カーブを曲がりきれずに右側壁に激突し、そのはずみで対向車線を走行してきた乗用車に衝突して横転し、ガードレールを突き破り停止した。	
	高速道路 運転中	運転手が2名乗車し4tトラックで東北自動車道下り線を走行中、前方の大型トラックを追い越そうと追越車線に車線変更した際に、被災者が乗るトラックの助手席側が大型トラックの右後部に激突し助手席の運転者が死亡した。	

自車のセンターラインオーバーなど、被災者側に主な過失のある災害は7件発生しています。

対向車や後方走行車の運転操作ミスや整備不良によるもの	国道 運転中	国道を走行中、緩やかな右カーブで対向車線のダンプトラックがスリップしてセンターラインを超え、正面衝突した。現場は片側一車線の緩やかな左カーブ。事故当時は激しい雨が降っていた。	あらかじめ、走行予定の道路の事故発生危険区域等を把握し、周知しておくことが重要です。
	国道 運転中	大型トラックで関東方面へ走行中、センターラインをはみ出した大型トラックが、別の大型トラック及び乗用車と接触した後、被災者が運転する大型トラックと正面衝突した。対向車の大型トラック運転者も死亡した。	
	高速道路 運転中	被災者が乗客を乗せた観光バスを運転して、東名高速道路上り線を走行していたところ、対向車線を走行中の大型トラックの左後輪の前部外側タイヤがホイールを固定するボルトが破断し、タイヤが中央分離帯を乗り越え、バスの運転席に激突した。	
	高速道路 運転中	2tトラックで東京方面へ向かって荷物を走行中、東名高速道路が渋滞していたため停車していたところ、後方から走行してきた大型トラックに追突され、その反動で前方の4tトラックに追突した。観光バス1台、トラック4台の玉突き事故となった。	

センターラインオーバーなど、対向車側に主な過失のある災害は5件発生しています。

交差点内の事故	運転中	社用車で公道を運転中、交差点を通過したところ、優先道路を直進していた大型トラックと出会い頭に衝突し、社用車が大破した。	過去に災害が発生したり、見通しの悪い交差点を確認しておくことが必要です。
	運転中	交差点を東進中の路線バスに、同交差点を南進してきた大型トレーラが衝突し、そのはずみでバスの進行方向が南方に向けられるとともに、バスの男性運転者は車外に投げ出された。バスは路肩に衝突して停止したが、乗客13名も被災した。	

その他	昇降中	被災者が道路上に停車させたトラックに乗車、もしくはトラックから降車していた時、反対方向から中央線を越えて走行してきた軽自動車に跳ねられた。	運転作業時以外の対策も定める必要があります。
	昇降中	片側2車線の第一車線に大型トラックを止め、コンビニに立寄ったのち、運転席に上がるためのはしごを昇降中、横を通過した車両にはねられた。	
	逸走	間伐材を積載し、トラックで林道を走行していたが、林道のグレーチングが外れているのに気づき、エンジンをかけた状態でトラックを止め、運転席を降りて直していたところ、逸走し始めた自分のトラックに轢かれた。	